ServerProtect for Linux パッチ適用手順

1. 概要

本手順は、Trend Micro ServerProtect for Linux 3.0 (以下 SPLX) における、コードサイニング証明書の更新 に対応するためのパッチ、**patch9** と **criticalpatch1706** の適用手順です。

2025年9月24日までにパッチを適用しない場合、アップデート時にデジタル署名のチェックが失敗し、パターンファイルの取得・更新ができなくなる恐れがあります。

詳細はトレンドマイクロ社の公式ページをご参照ください。 https://success.trendmicro.com/ja-JP/solution/KA-0016221?from=supinfo0331

当作業においては、ゲスト OS の再起動は必要ありません。

2. 作業前にビルド番号を確認

以下のコマンドを実行し、現在のビルド番号を確認してください。

■ Patch または Critical Patch を未適用の場合:

rpm -qa | grep SProtectLinux

SProtectLinux-3.0-**1694**.x86_64 (例:太字がビルド番号です)

■Patch または Critical Patch を適用済みの場合(未適用の場合は表示されません):

cat /opt/TrendMicro/SProtectLinux/Patch.ini

[PreviousVersion] (略) BuildNumber=**1601** (例:以前のビルド番号です) [CurrentVersion] (略) BuildNumber=**1635** (例:現在のビルド番号です)

3. パッチの選定基準

確認したビルド番号に応じて、パッチを選定します。

- ・Build 1656 以下の場合: patch9 を適用後、 criticalpatch1706 を適用します。
- ・Build 1657 以上の場合: criticalpatch1706 のみ適用します。

4.トレンドマイクロ社の公式サイトからパッチ URL を取得

URL は変更される場合がありますので、公式サイトから最新のリンクを取得してください。

1. SPLX のダウンロードサイトを開き、Patch タブを開きます。

https://downloadcenter.trendmicro.com/index.php?regs=jp&prodid=1320

ダウンロード	
製品・パッチ・検索エンジン	
パターンファイル情報	ServerProtect for Linux 3.0 他のバージョンを見る
体糖版	プロダクト・アップデート Patch Kernel Support 絵楽エンジン

2. patch9(下部)または criticalpatch1706(上部)の ファイル名を右クリックし、リンクを取得します。

ダウンロード					
製品・パッチ・検索エンジン	ServerProtect fo	r Linux 2.0			
パターンファイル情報	他のバージョンを見る				
体験版					
	プロダクト・アップデート	Patch Ker	nel Support 検索エンジン		
	オペレーティングシステム: Li	inux			
	ダウンロード内容	リリース日付	ファイル名	サイズ (MB)	
	Product Patch Build: 1706.00 English	2024-09-24	splx-30-lx-en-criticalpatch1706.tar.gz	80	
	このモジュールについて	このモジュールについて			
	1.単のitical Patch(build 1706)をインストールする前に、Patch9 (build 1557)を影响にインストールレてください、 2.基Critical Patch(build 1705)では、ServerProtect for Linux 3.6のリリース後に発見された全ての原語を修正します。詳細については本Patchの Readmeをご覧ください。 ドキュメント & サポート				
	Readme				
	Product Patch Build: 1657.00 English	2021-04-01	spix-30-ix-en-sp1-patch9.tar.gz	97.4	
	 評価情報 このモシュールについて 				
	ファイル名: splx_30_lx_e SHA256 checksum: 53 本Patch(build 1657)では、 ください。	n_sp1_patch9.tar.gz 8D2B95E49C4959E6282CF9: ServerProtect for Linux 3.00	IAA2C586599D79C1C85A16F52EB52A2D40DE92CE Dリリース後に発見された全ての同题を修正します。詳細にこ	Dいては本PatchのReadmeをご覧	
	特記事項				

5. 作業用ディレクトリの作成

作業ディレクトリ「SPLX_WORK」を作成して、移動します。

cd # mkdir ~/SPLX_WORK # cd ~/SPLX_WORK

6-1. (Build 1656 以下の場合) Patch9 適用

以下の手順で patch9 をインストールします。(URL は 2025/4 時点)

1. パッチをダウンロード、解凍:

```
# curl -LO https://files.trendmicro.com/products/splx/splx_30_lx_en_sp1_patch9.tar.gz
# tar zxvf splx_30_lx_en_sp1_patch9.tar.gz
```

2. 実行、RPM 情報を削除:

chmod u+x splx_30_lx_en_sp1_patch9.bin

#./splx_30_lx_en_sp1_patch9.bin

Do you want to continue and remove the previous RPM information?

yes

6-2. ビルド番号を確認

パッチ適用後、CurrentVersion内の番号が1657になったことを確認します。

cat /opt/TrendMicro/SProtectLinux/Patch.ini

(略) [CurrentVersion] (略) BuildNumber=**1657** (現在のビルド番号です)

7-1. Critical Patch 1706 適用

以下の手順で criticalpatch1706 をインストールします。(URL は 2025/4 時点)

1. パッチをダウンロード・解凍:

curl -LO https://files.trendmicro.com/products/splx/splx_30_lx_en_criticalpatch1706.tar.gz # tar zxvf splx_30_lx_en_criticalpatch1706.tar.gz

2. ディレクトリ移動とインストール:

cd splx_30_lx_en_criticalpatch1706
./install.sh

7-2. 作業後にビルド番号を確認

パッチ適用後、CurrentVersion内の番号が1706になったことを確認します。

cat /opt/TrendMicro/SProtectLinux/Patch.ini

(略) [CurrentVersion] (略) BuildNumber=**1706** (現在のビルド番号です)

8. 作業ディレクトリの削除(任意)

パッチ適用後、「SPLX_WORK」ディレクトリ内のファイルは不要となりますが、Critical Patch 1706 のロー ルバックを行う際に使用するファイルが含まれています。これらのファイルの再ダウンロードは可能ですが、 一定期間の保管を推奨します。

削除する場合は、以下を実行してください。

```
# cd
```

rm -rf ~/SPLX_WORK